

日本農薬学会設立30周年記念行事 および第30回記念大会プログラム

日時:平成17年3月18日(金)~20日(日)

会場: 明治大学 駿河台キャンパス (〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

総会、授賞式、受賞講演、特別講演、一般講演、

シンポジウム、ランチョンセミナー

設立30周年記念式典、記念講演会、パネルディスカッション

祝賀会及び会員懇親会、

リバティタワー

アカデミーコモン、ホール

アカデミーコモン

ピクトリーフロア 暁の鐘

記念行事および大会日程

3月18日(金) リバティタワー A会場

総会: 会務報告、会計監査報告、議事 9:00~10:00

日本農薬学会賞授賞式 10:00~10:20

受賞者一覧

奨励賞

下村 勝(近畿大学)

水口智江可(ワシントン州立大学)

業績賞(研究)

三芳秀人(京都大学大学院)

業績賞(技術)

脇田健夫、安井直子、山田英一、岸 大介(三井化学(株))

井上雅夫、中村知史、藤本博明、笠松紀美(住友化学工業(株))

論文賞

柿谷 均(東ソー(株))、平井憲次(相模中央化学研)

“Three-Dimensional Modeling of Plant 4-Hydroxyphenylpyruvate Dioxygenase, a Molecular

Target of Triketone-Type Herbicides” 28巻、4号、409~415頁

功労賞

丸茂晋吾(名誉会員)

高橋正三(名誉会員)

武居三郎(顧問)

P.ペーガー(コンスタンツ大学)

平成17年度日本農薬学会受賞者講演

3月18日(金) リバティタワー A会場 10:30~11:45

業績賞(研究)

三芳秀人(京都大学大学院)

10:30~10:55

「ミトコンドリア呼吸鎖酵素の阻害剤に関する研究」

(座長:米山弘一)

業績賞(技術)

脇田健夫、安井直子、山田英一、岸 大介(三井化学(株))	10:55 ~ 11:20	
「殺虫剤ジノテフランの開発」	(座長:坪井真一)	
井上雅夫、中村知史、藤本博明、笠松紀美(住友化学工業(株))	11:20 ~ 11:45	
「非散布型害虫防除製剤、ピリプロキシフェン含有テープの開発」	(座長:瀬谷 昭)	
3月20日(日)	リパティタワー A会場	13:30 ~ 14:20
奨励賞		
下村 勝(近畿大学)	13:30 ~ 13:50	
「ネオニコチノイド系殺虫剤の選択性に関する分子機構の解明」	(座長:宮川 恒)	
水口智江可(ワシントン州立大学)	13:50 ~ 14:10	
「昆虫脱皮ホルモン様活性物質ジアシルヒドラジン類の作用機構に関する研究」	(座長:松本 宏)	

設立30周年記念行事

3月18日(金)	アカデミーコモン、ホール	
1. 記念式典		13:15 ~ 14:10
開会の辞	上路雅子 日本農薬学会副会長	
式辞	安部 浩 日本農薬学会会長	
感謝状贈呈		
来賓挨拶		
日本農学会会長	熊澤喜久雄	
農薬工業会会長	大内脩吉	
閉会の辞	梅津憲治 日本農薬学会副会長	
2. 記念講演会		14:20 ~ 16:00
テーマ:「農業・農薬と教育」		
記念講演		
陽 捷行 ((独)農業環境技術研究所理事長)		(座長:安部 浩)
「21世紀に期待される生態知の活用」		
中津川 勉 (ニューヨーク州立大学環境科学森林学部教授)		(座長:石田三雄)
「農薬と教育」		
3. パネルディスカッション		16:00 ~ 17:00
テーマ:「農業・農薬と教育」		
司会	梅津憲治	
パネリスト	陽 捷行((独)農業環境技術研究所)	
	中津川 勉(ニューヨーク州立大学環境科学森林学部)	
	宮川 恒(京都大学)	
	田中啓司(IUPAC 委員、三共アグロ)	
	木下光明(内閣府食品安全委員会事務局)	
	斎藤芳美(東海コープ事業連合事業本部)	
	馬場由見(JA ふかや営農指導センター)	

4. 祝賀・会員懇親会 アカデミーコモン、ピクトリーフロア 暁の鐘 17:30~19:30

3月19日(土)、3月20日(日) 会場: リバティタワー 1階及び2階、A D会場 9:00~
受賞講演(奨励賞)、特別講演、シンポジウムIおよびII、
ランチョンセミナー、一般講演

特別講演

3月19日(土) リバティタワー A会場 13:30~14:30
中村靖彦(東京農業大学客員教授、内閣府食品安全委員会委員)
「農薬とくらしとの接点は？」 (座長:杉山民二)

シンポジウム

3月19日(土) リバティタワー A会場 14:30~17:30
テーマ:「農薬生物活性の新しい流れ」 (農薬生物活性研究会共催)
オーガナイザー: 佐野慎亮(日本曹達(株))

1. 新規鮮度保持剤 1-MCP の作用機構と利用の展望 14:30~15:05
榎村 芳記((独)農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所) (座長:吉田文隆)
2. 新規水稲用除草剤ペノキスラム(DASH-001SC)の開発とその特性について 15:05~15:35
白石郁雄(ダウ・ケミカル日本(株)、ダウ・アグロサイエンス事業部門) (座長:濱村謙史郎)
3. ミトコンドリア電子伝達系の阻害剤とその作用機構 15:35~16:20
三木 俊明(東京都臨床医学総合研究所、生理活性物質部門) (座長:石井英夫)
4. 新規殺ダニ剤スピロジクロフェンについて 16:20~16:45
副題1 Mode of Action and Resistance Risk Assessment in Tetranychid Pest Mites
Ralf Nauen (Bayer CropScience AG, Global biology Insecticides)
副題2 ミカンハダニに対する効果と特性 16:45~17:00
江本 暁、曾根 信三郎、丸山 宗之 (座長:小林政信)
(バイエルクロップサイエンス(株)結城中央研究所)
5. 新規殺虫剤ピリダリルの開発経緯とその特長 17:00~17:30
土屋 亨(住友化学(株)アグロ事業部開発部開発チーム) (座長:高木一夫)

3月20日(日) リバティタワー A会場 9:00~12:00
テーマ:「農薬生態影響評価に係る新しい制度と野外での評価・今後の検討課題」

(農薬レギュラトリーサイエンス研究会共催)

オーガナイザー: 山本広基、(島根大・生物資源)

星野敏明(バイエルクロップサイエンス(株))

1. 生態影響評価の観点を取り入れた農薬登録保留基準の改定 9:00~9:35
早川泰弘(環境省水環境部農薬環境管理室) (座長:野方 勝)
2. 農薬生態影響評価のための環境中予測濃度(P E C)の算定と課題 9:35~10:10
中村幸二(埼玉県農林総合研究センター) (座長:星野敏明)

